

提出日： 2024 年 5 月 6 日

研究促進期間制度 研究実績報告書

所属学部・研究科	身分	氏名
文学部	教授	眞鍋 倫子

研究期間	以下1～4より、取得した研究機関を選択し、該当番号を右欄にご記入ください。
	1. 2023年4月 1日 ～ 2024年3月31日
	2. 2023年9月 1日 ～ 2024年8月31日
	3. 2023年4月 1日 ～ 2023年9月20日
	4. 2023年9月21日 ～ 2024年3月31日
活動報告	研究期間中に実施した研究活動を具体的にご記入ください。 海外活動補助費を受給した方は、海外活動の内容が分かるようにご記入ください。
	専門学校に関する研究を進めるため、文献の収集を行った 生徒および教員へのインタビュー調査を行った 2年次の生徒への卒業前の調査の調査票を作成し、実施した(データセット作成中) 1年次の生徒に実施した調査データの分析を行った(学会発表を2件行った)
得られた研究成果について	上記の研究活動の結果、得られた研究成果についてご記入ください。
	9月に教育社会学会において報告「専門学校への進路選択と学校生活のジェンダー差」について発表を行った。また、キャリアデザイン学会においても「専門学校生の進路意識とジェンダー」についての発表を行った。 年度末に教育学論集に「専門学校生の進路選択・学校生活の関係一分野とジェンダーに着目して」を投稿した。 専門学校への進学が、必ずしも高校時点での成績が低い層ということではなく、特に女子においては気自己実現やキャリア継続を志向する者が積極的に進学してきていること、専門学校への進路選択を積極的行ったことが学校生活や将来の就職や継続への自信に結びついていることなどを示した。
今後の計画について	得られた成果を踏まえ、今後どのように研究を発展させる計画か、ご記入ください。
	まずは、得られた研究成果をまとめた報告書を刊行することが直近の計画である。 そのために、期間内に行った卒業直前の調査の分析を行いつつ、これまでにインタビューの対象となった生徒に卒業後も継続してインタビューを行い、卒業後のキャリア形成がいかに行われているのかについての研究を進めていきたい。インタビュー及び卒業後の調査については、科研費の取得などの外部資金の獲得を目指す。